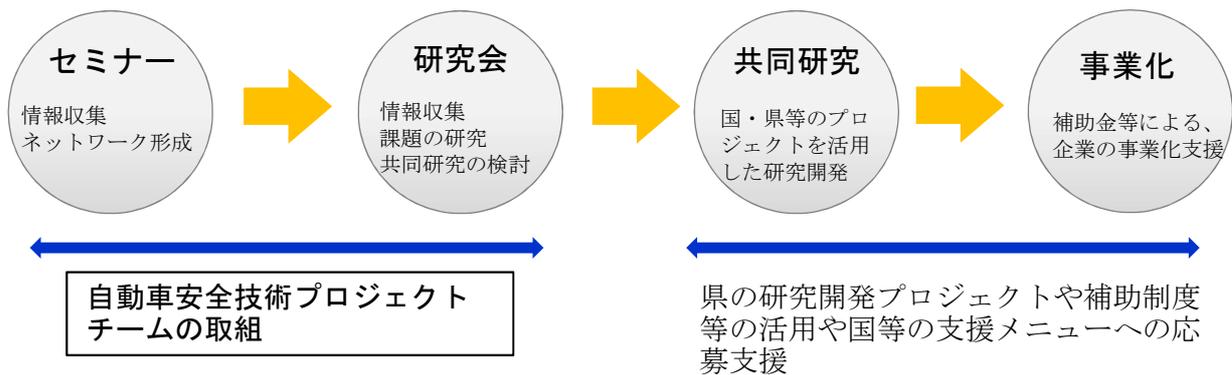


自動車安全技術開発支援事業について

1. 目的

近年、自動車メーカー等を中心に、自動車安全に寄与する製品の開発・販売が行われ市場が拡大しているが、中小企業や中堅企業の参入は一部にとどまっている。

こうしたことを踏まえ、中小企業等を対象に、自動車安全技術に係るセミナー及び研究会を開催することにより、自動車安全に寄与する製品開発の取組を促すとともに、研究者・技術者等のネットワーク形成を図り、県内企業等による産学行政連携の研究開発や実用化へ結びつけるなど、オールあいちでの研究開発の取組を促進していく。



2. 28年度の取組状況

(1) 自動車安全技術セミナーの開催

自動車安全技術関連の県内大学の技術シーズや、製品化・事業化を実施している中小企業の事例等を紹介するセミナーを開催した。

第1回 H28.11.4	<p>豊田工業大学 特任教授 スマートビークル研究センター長 三田誠一 氏 自動走行運転技術などに関する動向と当学の取組について</p> <p>株式会社キクテック 中部製造部技術開発課長 浅井靖治 氏 道路等のインフラに関連した交通事故低減に係る当社の取組について</p> <p>【出席者】 26名 (企業14名、大学・研究機関5名、団体その他7名)</p>
第2回 H29.2.17	<p>名古屋工業大学 教授 浅野勝宏 氏 運転支援システムの変遷とそのキー技術(走行路面リスク予見技術)への取組</p> <p>豊橋技術科学大学 助教 松尾幸二郎 氏 自動車プローブデータを活用した交通安全マネジメント～穏やかな生活道路を目指して～</p> <p>【出席者】 36名 (企業16名、大学・研究機関7名、団体その他13名)</p>

(2) 自動車安全技術研究会の設置及び活動支援

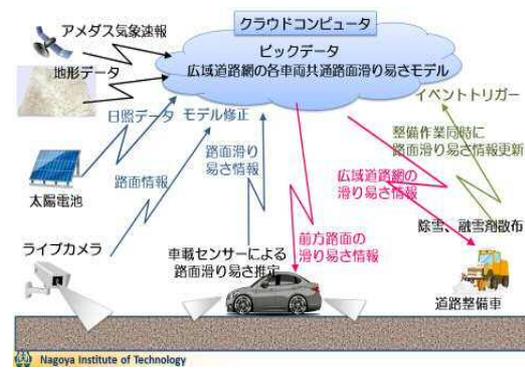
自動車安全技術分野の開発や実用化の促進に資することを目的に、自動車安全技術の開発を目指す産・学・行政による研究会を公募・採択し、研究開発プロジェクトの組成等を目指す活動を支援した。

【経緯】

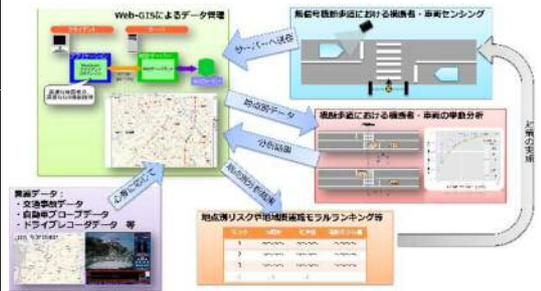
- 平成 28 年 10 月 17 日～11 月 30 日 公募
- 平成 28 年 12 月 26 日 審査委員会
- 平成 29 年 1 月 6 日 記者発表 (2 件採択)

【研究会概要】

研究会名	IoTによる走行リスク予見技術研究会
座長	名古屋工業大学 電気・機械工学専攻 浅野勝宏 教授
構成	2 大学・研究機関、6 企業、5 団体等 18 名
概要	異常気象が常態化し、走行時の自然リスクが拡大する中、走行路面のリスク予見技術が不可欠となっているため、これまでの様々な取組を討議等で情報共有し、IoTを活用して統合した時の効果予測や課題抽出等を行う。
開催状況	第 1 回 2 月 20 日、第 2 回 3 月 24 日 (予定)



研究会名	ビッグデータ活用型交通安全管理システム研究会
座長	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 松尾幸二郎 助教
構成	3 大学・研究機関、6 企業、2 団体等 22 名
概要	ビッグデータを活用した、交通安全のためのデータ管理・分析システムの構築に向け、現場での経験に基づく従来手法とデータから得られる知見との有機的な融合を図るため、研究事例紹介やニーズ紹介を通じた議論・課題抽出等を行う。
開催状況	第 1 回 2 月 13 日 第 2 回 3 月 30 日 (予定)



検討イメージ図

※構成機関にはオブザーバ参加を含む

(3) 研究者情報リストの公開

県内大学で自動車安全技術や交通事故防止に関する研究を行っている研究者のリストについて、28 年 7 月末現在で情報を更新し、県の WEB サイトで公開した。(研究者情報：14 大学 81 名)

<http://www.pref.aichi.jp/san-kagi/kagaku/jidosha/researcher.html>